

ずしし かんきょうかいぎ ニュース

第19号 2008年10月

事務局 逗子市環境部環境管理課
逗子市逗子5-2-16

TEL 046-873-1111 内線 254、284

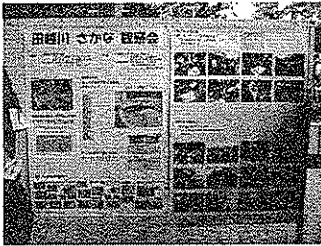
発行 ずしし環境会議（エコリーダーズ会議）



6月の環境月間に様々な催しを行いました！

ずしし環境会議（エコリーダーズ会議）の各部会が、環境会議展（6月9日（月）～6月13日（金））で、ずしし環境会議の活動報告などを展示しました。

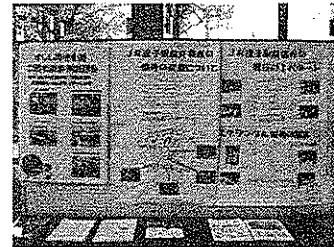
まちなみと緑の創造部会



ごみ問題部会



二酸化炭素削減部会



— 展示内容 —

（まちなみと緑の創造部会）
田越川さかな観察会
名越谷戸の一年 など

（ごみ問題部会）
マイバック製作の実演
市内スーパーの環境への
取り組みなど

（二酸化炭素削減部会）
JR 逗子駅前交差点の調査
部会員である3事業者の展示 など

今年も「市民まつり」に「ずしし環境会議」が参加します。

10月19日（日）（予備日：26日（日）） 場所：第一運動公園 テニスコート側駐車場

ずしし環境会議（エコリーダーズ会議）からのお知らせとお願い

地球の環境をこれ以上悪化させない活動が、今世界的規模で進められています。

ずしし環境会議では、逗子市の環境基本計画にそって、「Think globally Act locally」のもと、「まちなみと緑の創造」「ごみ問題」「二酸化炭素削減」の3部門について、今われわれが実行できる諸問題に積極的に取り組んでいます。

田越川の生物などの観察・調査、里山の活用、ごみの減量化・資源化、まちの衛生活美化、市内の交通渋滞の解消・公共交通機関の利用促進、地球温暖化などについて市内小中学校へ出前授業を行うなどの活動をするとともに、他の活躍中のグループの方々と連携を保ちながら活動をしています。

地球環境問題に興味をお持ちの方、取り組んでいる分野に関して豊富な知識と経験をお持ちの方々に、ぜひわれわれの活動にご参加くださるよう希望いたします。

毎月約2時間市役所内で例会をもち、調査活動などの打ち合わせと情報交換をしております。まずは、ぜひ1度例会に参加してみませんか。

（例会開催日）※開催日については、予定ですので変更する場合がありますのでご了承ください。

「まちなみと緑の創造部会」→毎月第2土曜日 13：00～

「ごみ問題部会」→第2金曜日 14：00～

「二酸化炭素削減部会」→第2木曜日 10：00～

※なお、この件に関するお問い合わせは環境管理課へ
(TEL 046-873-1111)

ずしし環境会議 会長 石井 照周
副会長 菊池 尚
副会長 岡崎 岩夫

まちなみと緑の創造部会

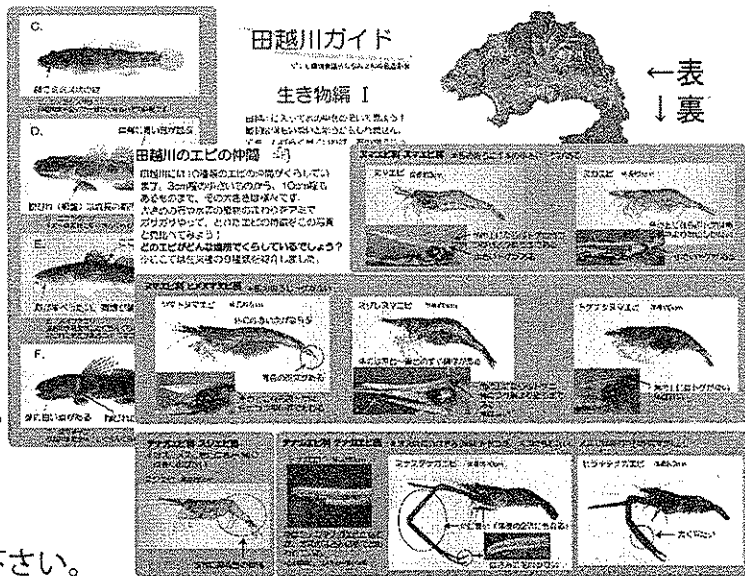
当部会では、「逗子の自然環境を次世代にどのように伝えるか」をテーマとして活動を続けています。

『田越川ガイド生き物編Ⅰ』が完成しました。現在、無料配布中です！

2005年7月から2007年8月まで、横須賀市自然・人文博物館、神奈川県環境科学センターにご協力を頂きながら、田越川水系の生物調査を行ってきました。その調査結果は、横須賀市研究報告（自然科学）55号に“逗子市田越川水系の魚類”として発表されました。

また、調査結果の普及版として、『田越川ガイド 生き物編Ⅰ』（A4三つ折）を作成しました。田越川で見られる、ハゼの仲間、エビの仲間はこれ一冊で識別できる内容になっています。

ご希望の方は、逗子市環境管理課窓口へお越し下さい。



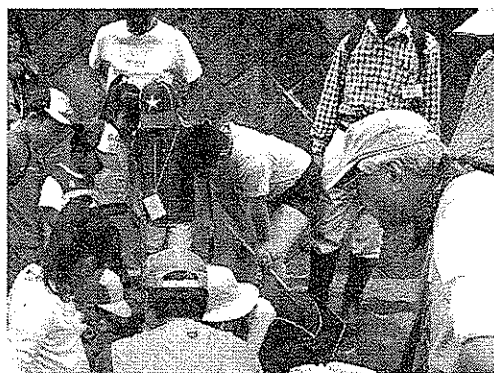
逗子の自然を守り、育てる*ボランティア募集！！

(*ずしし環境会議まちなみ部会会員)

私たち、ずしし環境会議まちなみと緑の創造部会は、逗子市環境基本計画に基づき、逗子の自然を守り育てる活動を続けています。地域の自然をより良くするための保全活動、子どもたちに自然の魅力を知り、体験してもらう場（観察会や出前授業等）の企画・運営、現状の自然を把握するための調査活動等、を続けています。



↑自然観察会を企画・運営する部会員



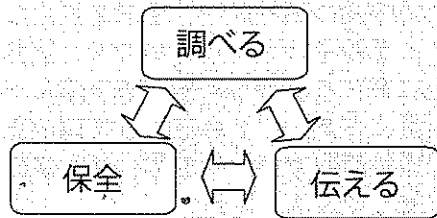
↑子どもたちと一緒に専門家の話しに聞き入る部会員

<活動事例>

- ・里山、ハイキングコースの保全、整備
- ・田越川の調査、保全、観察会
- ・逗子の史跡・町並みの保全 等

バランスの良い市民活動を目指しています！

- ・自然環境の調査（専門家と協力）
- ・ハイキングルートの探索 等



- ・ハイキングコースの保全、整備
- ・里山保全活動
- ・溜池の保全活動 等
- ・自然観察会の実施
- ・小中学校へのお出前授業
- ・出版物の作成 等

専門家も交えた保全活動や調査活動を通して、まず、私たち自身が学ぶことから始めています。逗子の自然を守り育てる活動にご参加下さい。

お問合せ：事務局（逗子市環境管理課）

ごみ問題部会

ごみ問題部会はごみの減量化・資源化をテーマに活動しています。

ごみ問題の究極の目標はゼロ・ウェイストであり、これは「ごみゼロ」を目指すということです。

今年も市民まつりはゴミ箱なしまつり！！ビンジュースのデポジット体験を行います…ヨ

環境に優しい取り組みの一環として、ごみ持ち帰りの定着に向け市民まつり実行委員会と共に、ずしし環境会議メンバーはボランティア監視員として活動に参加します。市民まつりに参加される皆様の「ゴミ箱なし」に協力をお願いします。

ビンデポジットでは原則として小学生以下のお子様を対象に、ごみを出さない体験コーナーをキリンビール(株)・キリンビバレッジ(株)のご理解とご協力で行います。

◎ビンの中身は無料ですが、100円のビンデポジット代をいただき、ビン返却時に100円返します。

*デポジットとは「保証金」と訳され容器やサービスを利用する際に必要なカードや容器などを賃借する際に支払う「預かり金」のこと。

例 Suica カードやビールビンなど

報告 生ごみ、植木ごみの資源化エコツアー 6月8日に行う

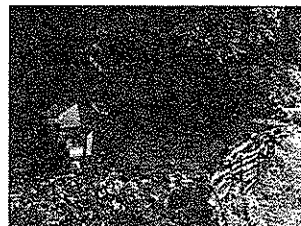
ごみの全焼却量の約30%が生ごみ、約10%が植木ごみによって占められています。従ってごみの減量化や、焼却に頼らないごみ処理を推進する上で、生ごみ、植木ごみの資源化は最優先の課題であると言っていいでしょう。そこで私たちは環境ウィークスのイベントとしてエコツアーを企画し、市民によるごみ資源化の取組みを見学しました。まずは大型生ごみ処理器を使って生ごみを堆肥化している山の根のマンション、ファミリー逗子。(できた堆肥は公園の花壇に。ご近所にも分けていますが、質の良さが好評です。)次にコンポストを利用して生ごみを土に還している久木の鈴木宅。(2台のコンポストを交互に使用するテクニシャン。使用上の様々なコツを教えてくださいました。)最後は久木大池の逗子ガーデンさん。剪定によってでた植木ごみをチップ化して堆肥にしたり、太い枝は薪にしたりと無駄なく資源化しています。(堆肥は製品化し、薪は地域の薪ストーブ利用者に大人気です。)生ごみ、植木ごみは貴重な資源であることを再確認するツアーとなりました。

ファミリー逗子の大型生ごみ処理機

鈴木宅でコンポスト

逗子ガーデンの堆肥場

薪割り実演



ごみ問題に私たち一人ひとりができることは何？～

提案 お店で上手にグリーン購入！ レジ袋はもらわない！

マイバックを持っていきましょう。毎日の買物には買物袋を持参しレジ袋をもらわないこともグリーン購入です。

環境に配慮して商品を選ぶ消費者のことを「グリーンコンシューマー」と呼びます。

「必要なものを必要なだけ購入する」「長く利用できるものを選ぶ」「リユースできるものを選ぶ」「再生品を選ぶ」「環境対策に熱心なお店で買う」などグリーンコンシューマーの基本的考えです。

ごみ減量知恵袋2 ごみの減量は生ごみが決めて！

生ごみは90%は水分です。水分を30%ぐらい減らすのは簡単。水分を飛ばすとコンポストや生ごみ処理機に入れる時も効率がよく処理できます。燃やすごみに出しても水分を燃やさないのですから税金の節約になりますよ！

野菜くずを水にぬらさないから始めよう！



- 1) 泥のついていない野菜以外は、皮をむいてから洗う。
- 2) 広告紙や不要紙で作った紙箱をおいて、皮を直接入れるようにすればぬれません。
- 3) 紙箱で包んで、日に干すなどして2～3日置いておくだけで30%は水分がとびます。
- 4) 茶がら、コーヒーがらなどは冷蔵庫に入れる。消臭剤にもなり、よく乾燥します。(水切り十分かんたんにできます)

6月7日 逗子市内スズキヤとキングがマイバック推進デー(有料化実験)を行いました。当会では当日展示物やチラシを持って応援しました。

写真は、スズキヤ駅前店店長、市長、当会メンバー



二酸化炭素削減部会

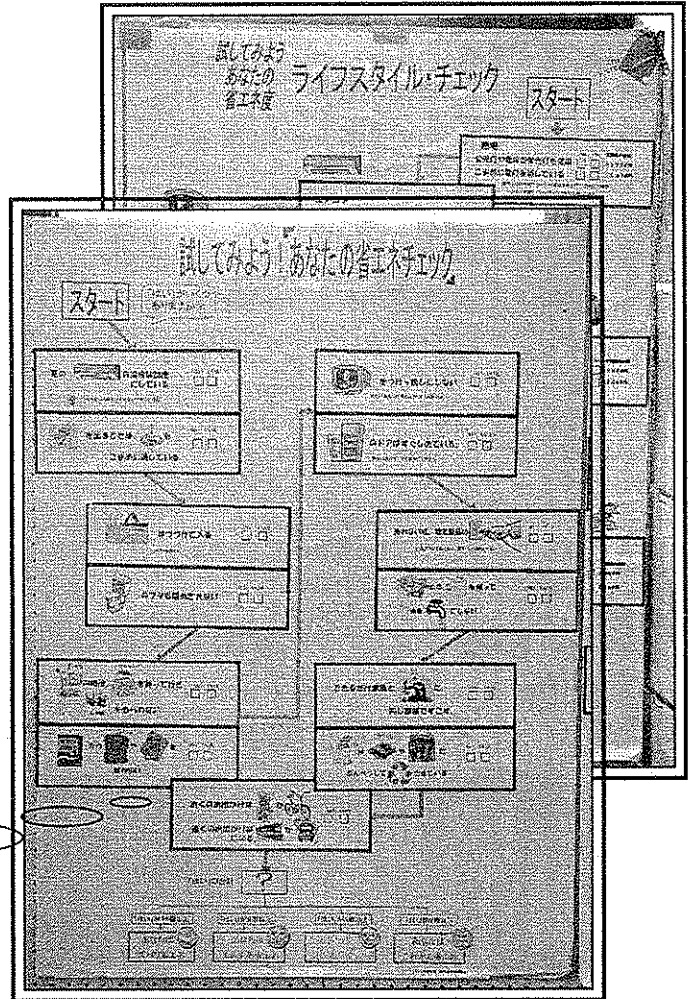
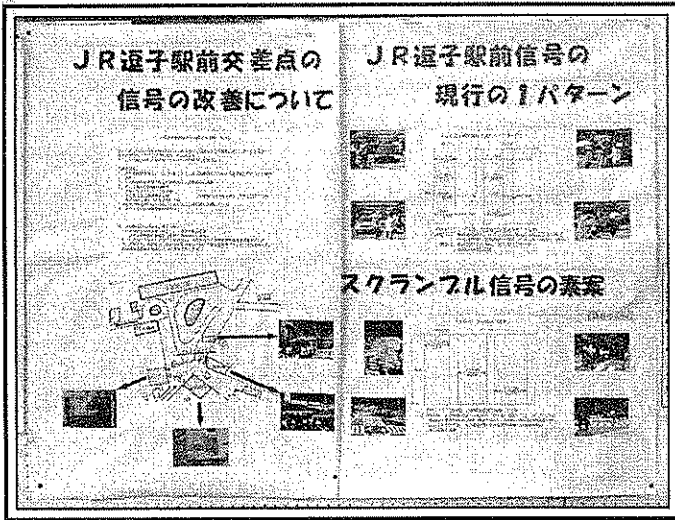
地球温暖化の主な原因である二酸化炭素の削減のための活動を行っています。

6月の環境月間での二酸化炭素削減部会の展示について紹介します

(省エネチェック表を作成し展示)

(JR逗子駅前の交通事情調査について展示)

安全を考え人と車の交差を避けるべく、スクランブル化の可能性について調査を行い、結果について展示しました。スクランブル化実現のため、調査結果については、関係機関へ報告しました。



家庭で環境にやさしい生活を送っているか。電化製品の使い方などをチェック!!

今年の環境パネル展では、二酸化炭素削減部会員であるJR逗子駅、郵便事業(株)逗子支店、京浜急行バス(株)逗子営業所の3事業者が初めて部会員として環境への取り組みなどについて展示しました。

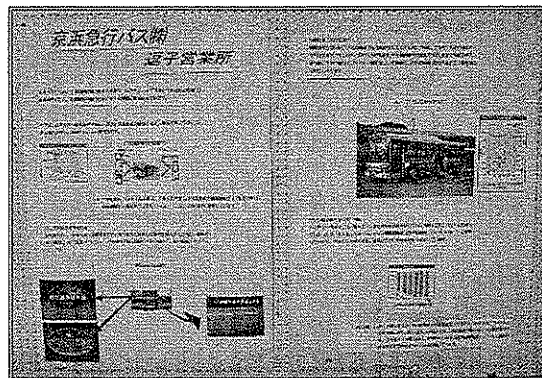
(JR逗子駅)



エコステーション(ecotion)

※ eco+station

駅構内と車内からのゴミ分別への取り組み



(京浜急行バス(株)逗子営業所)

マイカーからバス利用に代えて頂けるよう、ステップなし等乗りやすく改善を継続
環境への負荷の低減への取り組み

(郵便事業(株)逗子支店)

地球温暖化防止はがき
「カーボンオフセットはがき」

